

## 別府医療センター

基本理念 <急性期医療の地域中核拠点として最善の医療を行う>

病院紹介文 「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」といわれるとおり、当院は世界一の温泉地、別府にあります。別府市 JR 亀川駅より徒歩 10 分にある当院は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として大分県北の急性期・がん診療の中核拠点の役割を担っています。また、医療が複雑化する今日、薬剤師にも専門性が求められてきています。私たちは多職種と連携してそれぞれの専門性を発揮し、患者様の状況に的確に対応したチーム医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって頑張っています。

### 【施設概要】 2023. 7. 1 現在（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒874-0011 大分県別府市大字うちかまど 1473 番地
2. 特徴 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院  
地域周産期母子医療センター、地域小児科センター、重症難病協力病院
3. 診療科 32 診療科  
【外科系】呼吸器外科・心臓外科・血管外科・消化器外科・乳腺外科・  
整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科皮膚腫瘍科・  
腎泌尿器外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科  
【内科系】総合診療科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・  
糖尿病内分泌内科・腎臓内科・脳神経内科・血液内科・精神科・  
リウマチ膠原病内科・小児科・新生児科  
【外科系・内科系以外】リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・  
救急科・麻酔科  
病床数 500 床（一般）；460 病棟 ・（精神）；40 床
4. 薬剤師数（定数：20 名）  
薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、主任 4 名  
薬剤師 14 名、助手 2 名
5. 主な業務  
(ア)調剤 入院 89,051 枚/年、外来 7,0213 枚/年（院外処方率 91.0%）  
(イ)注射 入院 78,934 枚/年、外来 12,638 枚/年  
(ウ)薬剤管理指導件数 7,197 件/年（599 件/月）  
(エ)無菌製剤処理料 I；3,753 件/年（うち閉鎖式使用 154 件/年）、II；2,512 件/年  
(オ)外来腫瘍科学療法診療料 2,631 件/年  
(カ)病棟薬剤業務 実施（実施病棟数 1：9 病棟 2：1 病棟）  
(キ)チーム活動 ICT（感染対策向上加算 1）、NST（加算あり）、  
緩和（加算あり）、褥瘡、認知症ケア
6. 特徴的な業務 日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修施設として薬局薬剤師を受入  
治験と連携して治験薬の調剤・払出、調製、管理簿記載を実施  
外来化学療法患者への指導

7. R4 年度の取り組み 周術期薬剤管理加算算定開始

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	×
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

9. 目標（2023 年度）

運営方針 < 病病・病診連携の強化、循環器・がん診療の充実・強化、教育・研修体制の強化、  
経営基盤の向上、発進力のある質の高い臨床研究の推進 >

薬剤部目標 < 医薬品の適正使用推進とリスクの回避策の立案と実践 >

< チーム医療推進による医療の質への貢献 >

< 業務改善と病棟での薬剤業務のさらなる推進 >